

「ふるさと筑北応援寄附金」

募集中！



●ふるさと筑北応援寄附金とは…？

通称“ふるさと納税”と呼ばれ、自分が応援したいと思う都道府県・市区町村への寄附のことです。

筑北村にゆかりのある方、生まれ育った方、住んでみたい方、生まれも何も関係ないけど応援したい…皆様の思いを、寄附金を通じて伝えていただけます。

●税金が控除されます…！

寄附をいただいた場合には、寄附金額から2,000円を差引いた金額が所得税と住民税から控除されます。寄附金控除を受けるためには、確定申告を行う必要があります。「寄附領収証明書」を発行しますので、2月16日から3月15日の間にお住まいの市区町村、または税務署で申告をしてください。

●謝礼品をプレゼントします…！

4,000円以上ご寄附いただいた場合には、筑北村の特産品をプレゼントします。

はぜかけ米、野菜、お酒、味噌など、筑北村の特産品を集めたカタログの中から好きなものをお選びいただけます。



●ふるさと筑北応援寄附金(ふるさと納税)をするには…？

- ①「ふるさと筑北応援寄附金申出書」に必要事項をご記入のうえ、筑北村総務課までご提出ください。窓口、郵送、ファックス、メール、いずれの方法でもご提出いただけます。
※用紙はご連絡いただければ郵送、ファックス、メール等でお届けいたします。また筑北村HPからもダウンロードが可能です。
- ②申出書を確認後、納付書を送付いたします。納付書によるお振込み、又は現金書留によりご送金ください。筑北村役場の窓口で納付していただくこともできます。
- ③寄附いただいた後、税金の控除等に必要「寄附領収証明書」とカタログをお届けいたします。カタログの中から、特産品をお選びください。



応援ありがとうございます

平成25年1月から平成26年3月までの間に下記の方々より寄附をいただきました。

清水 秀水様（山梨県）、中野 方子様（愛知県）、石田 敦信様（東京都） 他7件

合計 555,800円

【お問合せ 総務課 0263-66-2211】

◇本城庁舎の改修工事の状況
工事は、26年度、27年度の2か年にわたり実施します。

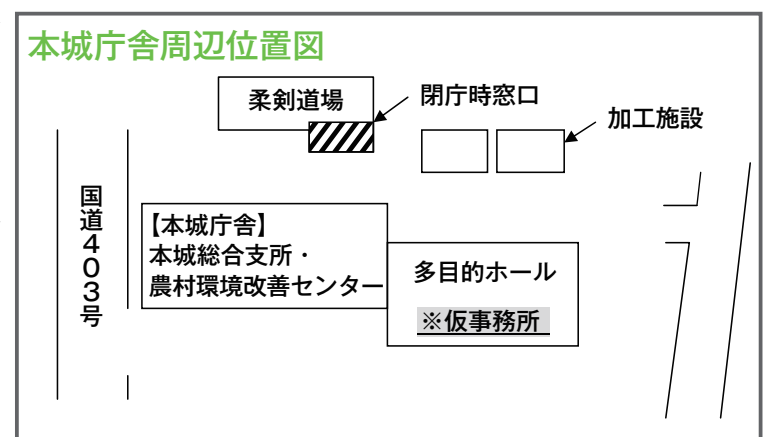


新設窓口イメージ

◇仮事務所での業務開始
今回の改修工事に伴い、期間中の住民福祉課、建設課、本城

1ター工事に伴い地盤強度を保つための杭工事が必要となることが判明しました。これに伴い、設計を見直し、工期の再検討をした結果、27年3月末までの工期では実施困難と判断し、27年度にまたがって行う計画としました。
このことはこのほど行われた村議会9月定例会において承認されました。
これにより、住民のみなさまには本城庁舎、農村環境改善センターの利用面でご不便をおかけする期間が延びることとなりますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

総合支所村民課の事務所・窓口は、本城庁舎に隣接する多目的ホールを仮事務所とし、9月1日から業務を開始しています。また、土日、祝祭日等の日直業務は、9月より本城庁舎北側の子育て支援センターで行っております。
ご利用いただくみなさんにはたいへんご不便をおかけしておりますが、ご理解とご協力を重ねてお願いいたします。



エレベーター設置後イメージ



本城総合支所仮事務所



本城総合支所日直窓口

村報 筑北

第54号

平成26年9月19日発行

編集 筑北村総務課
〒399-7601
長野県東筑摩郡筑北村坂北 2187 番地
電話 0263-66-2211
FAX 0263-66-3656
ホームページ
<http://www.vill.chikuhoku.lg.jp>

筑北村の人口

総人口	5,038 人
男	2,459 人
女	2,579 人
戸 数	1,901 戸

(平成26年8月31日現在)

村道学校線拡幅及び歩道設置工事を行います

坂北小学校から筑北ひまわり保育園の南側を通る村道学校線は、幅員が約4・0mで歩道がなく、通学路として交通安全上、危険な道路になっています。

また、本年度、保育園が統合され、来年度には、現在の坂北小学校位置に、統合小学校として筑北小学校が開校されます。これに伴い道路を通学する児童や送迎車両の増加が見込まれ、これまで以上に危険な状況になることが予想されます。

この状況を改善し、園児、児童の安全を確保するため、歩道の設置と道路幅員を広げる工事を行うことにしました。工事完了後には、道路幅員が5・0mその外側に1・5mの歩道が設置されます。工事の期間は、平成26年度、27年度の2カ年で実施する予定です。

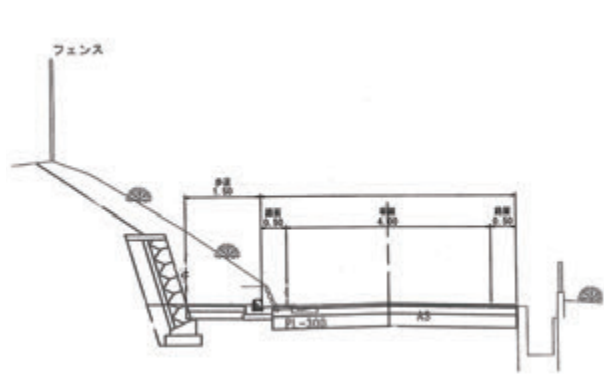
この工事は、小学校の校庭側を削り道路の幅員を確保するため、学校敷地内の樹木を伐採する必要がありますが、子どもたちの安全確保のため、ご理解

とご協力をお願いいたします。

(建設課 建設係)



現在の村道学校線



計画横断面

土砂災害警戒区域について

長野県では、土砂災害防止法に伴う村内の土砂災害警戒区域等の指定を進めています。土砂災害防止法とは、土砂災害から国民の生命を守るため、土砂災害の恐れのある区域についての危険の周知、警戒避難体制の整備、住宅等の新規立地の抑制等のソフト対策を行うものです。

今回指定する区域は、土石流とがけ崩れの恐れがある次の区域です。

○土砂災害特別警戒区域

(レッドゾーン)

建物が破壊され、住民に大きな被害が発生する恐れのある区域

レッドゾーン内は、今後、建物を新築、増改築を行う場合に安全な構造であるかどうか建築確認が必要になること(現在お住まいの家屋に対する対応は求めています。)や宅地造成等の開発行為が許可制になるなど一定の制限がかかります。

○土砂災害警戒区域

(イエローゾーン)

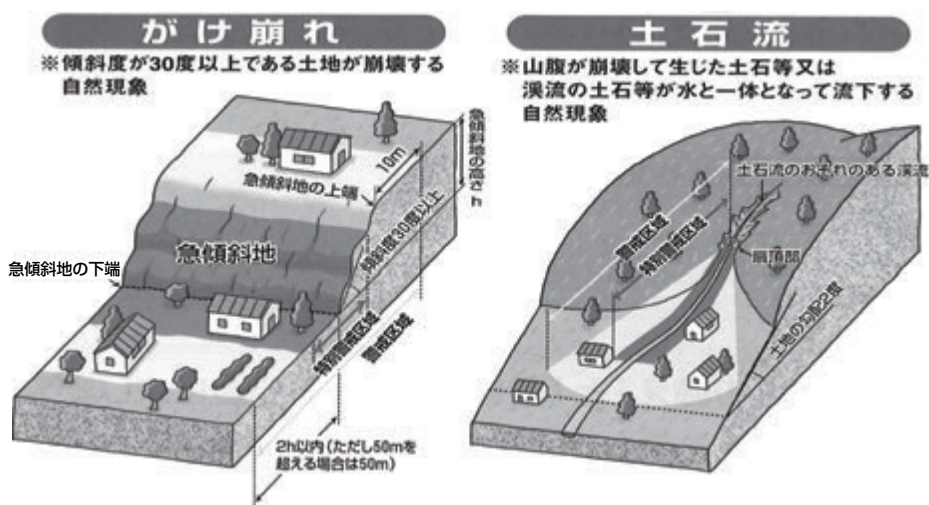
土砂災害の恐れのある区域イエローゾーン内は、村が、今にも増して警戒避難体制の整備を図る必要があります。

今回の区域指定の一方で、土砂災害を防止するための堰堤や擁壁等のハード対策も進めています。多大な時間と費用を要するため、全国で50万箇所以上といわれる警戒区域すべてを対応するのは難しい状況です。

近年、土砂災害が多発しています。この7月には、県内でも大規模な土砂災害が発生し、尊い人命が奪われました。いつ発生するかわからない土砂災害から身を守るためには「日頃の備え」と「早めの避難」に心掛けていただくことが重要になります。

ホットスポットちくほく

村では、ハザードマップを作成し危険箇所を周知することや的確な避難勧告等の発令ができる体制の構築を進めていきます。住民の皆様は、警戒区域等の指定予定箇所は建設課、各総合支所村民課及び村HPで閲覧で



きますので、お住まいの地域の危険箇所を確認してください。

(建設課 建設係)

土砂災害防止法区域指定に係るお問い合わせ先

長野県犀川砂防事務所 砂防課

電話 62-3257

司法書士無料法律相談所を開設します

10月1日は「法の日」です。

長野県司法書士会では、左記により、無料法律相談を実施して、ご相談をお受けします。

お気軽にお出掛け下さい。

★相談は予約制です。

●受付期間

9月30日(火) 午後3時まで

●予約受付

役場総務課又は各総合支所村民課にて受け付けます。

◇相談内容

土地や建物に関する相談、会社・各種法人に関する相談、相続に関する相談、成年後見に関する相談、相続関係に関する相談、借入金・貸付金に関する相談、損害賠償に関する相談、地代・家賃等に関する相談、その他

◇日程・場所

●開設日(3地区同日)

10月1日 水曜日

●本城地域

▽西条温泉とくら

研修室

▽午前10時～12時

●坂北地域

▽坂北地域情報センター

会議室(社協坂北支所内)

▽午前10時～12時

●坂井地域

▽筑北村坂井公民館

▽午後2時～4時

※司法書士には守秘義務が課せられておりますので、皆様の秘密は厳守いたします。

◇お問い合わせ先

総務課 総務係

電話 66-2211



「漏水のお知らせ」を受け取ったら…

毎月のメーター検針では、漏水のチェックも行っています。検針員が異常を発見したら、お宅にお知らせをします。漏れている量がさほどなくても、知らずに放っておくと、使った覚えのない水道料金が請求されま

すし、何より**貴重な水がムダ**になります。検針票でも確認し、漏水が疑われる場合は、できるだけ早く村指定工事店に修繕の依頼をお願いします。

修繕をしていただくと、漏水が発見された月の検針から、翌々月の検針までの期間、又は漏水箇所の修繕が完了した月の検針までの期間で、いずれか短い期間の水道料金を減免することができま

合併浄化槽の設置を希望される方へ

本年度中に新築・改築などで合併浄化槽の設置を考えられている方は、10月末日までに建設課上下水道係へお申し出ください。(66-2111)

下水施設の整備については、村の財政状況が厳しく、国からの補助を受け実施しているため、早期に本年度の設置基数の把握が必要です。期日を過ぎてしまうと設置が翌年度となる可能性がありま

※浄化槽の設置は村で行いますが、工事費の三〇%を設置者に負担していただきます。

小学生の上下水道の勉強会がありました

7月16日に坂北小学校、23日には本城小学校の4年生が上下水道の勉強会を行いました。

坂北小では、教室で坂北地域の深井戸から取水した水道水の

薬草による村おこし事業 韓国視察の報告

薬草栽培や活用について、6月23日から26日にかけて、先進地である韓国の慶尚北道榮州市きんやんぽくどうえいしゅうしや英陽郡などの視察を行いました。

視察には産業課職員2名の他、日韓食文化薬草研究所(松本市)の代表者も同行し、現地案内や指導をして頂きました。

現地では、慶尚北道種子種根種苗協同組合の理事長、専務理事のほか各栽培地の農家の方々に栽培・加工及び流通方法について大変熱心に指導をして頂きました。筑北村でも、栽培が可能な品種なども教えていただくこともでき、今後の展開によ

っては技術交流も進めていく提案も示され、大変意義のある視察や交流ができました。また、韓国の薬草料理専門店や家庭的な料理を出す店も視察し、薬膳(薬草)料理の種類の多さに驚き、韓国における薬草文化の深さを

を食べる文化があり、薬草の効果や効能をしっかりと理解し、調理方法や美味しい食べ方、保存方法等、知恵と工夫を感じることができました。筑北村(日本)の食文化と、薬草の融合による新しい食文化が生まれる可能性があると感じました。



今後、村では「薬草による生涯現役・健康長寿の村づくり」についてさらに調査・研究を重ね、具体的な取組みについて検討を開始し、各種アクションプランを村民と一緒に進めていきたいと考えております。

皆様の身近な薬草や、実際に薬草を栽培している方、又は活用されている方は情報をお聞かせ下さい。

産業課農林係(67-2002)

流れや、浄化槽の仕組みなどを説明し、「水はどこから来るの?」「使った水はどうなっちゃうの?」など、たくさんの質問を受けました。最後に、「きれいな水を守るためには、みんなが山や川を汚さないようにすることが一番大切なことだよ。」とお話しました。

本城小では栃平浄水場と西条排水処理場を見学しました。浄水場の深い水槽を興味津々に覗き込んだり、



栃平浄水場にて

処理場で実際の微生物を顕微鏡で見て、「見えた!」と歓声を上げたり、「何これ?」などの質問も多く出されました。



西条処理場にて

児童の皆さんに大切な水の循環の話をしました。これからも適正な維持管理を行っていきます。



い結婚 おめでとうおめでとう!

ご結婚され筑北村にお住まいになられる方には、村から結婚祝金として10万円をお贈りしています。

この6月からは、村長が直接お渡しすることとなり、8月15日、柳澤敏史(としふみ)さん、和枝(かずえ)さんご夫妻に祝金が贈呈されました。おめでと

うございました。なお、結婚祝金の申請は、各総合支所窓口で受け付けていま



(左から) 村長、柳澤敏史さん、和枝さん

お子様の誕生 おめでとうおめでとう!

お子様が誕生された方に、村から出生祝金(第一子、第二子5万円・第三子以降10万円)をお贈りしています。

この6月からは、村長が直接お渡しすることとなり、6月に長女「里緒(りお)」ちゃんが誕生された林さんに、7月17日、祝金が贈呈されました。おめで

とうございました。なお、出生祝金の申請は、各総合支所窓口で受け付けていま



地域おこし協力隊活動報告

ふさぐり収穫お手伝いイベント開催

去る7月5日、フサスグリの栽培・ジャム加工を手掛ける大沢生産組合と、村のコミュニティブログ「ちくほく」を運営している信州ちくほくWebツリーズム共催でフサスグリ収穫お手伝いイベントが行われ、産業課協力隊も企画運営として関わりました。



当日は村内外から9名の参加者が集まり、組合員さんに摘み取りのコツを伝授していた大きな

ら、真っ赤に色づいたフサスグリの実を収穫しました。

フサスグリの収穫時期は約10日間と非常に短く、組合の人数も少ないためこれまで収穫されないまま残ってしまう果実もありました。そこでフサスグリの収量増加を図るべく、ボランテ

ニアの参加者を募り、収穫体験をイベント化しました。

見方を変えると「課題」が「魅力」になり、お金をかけなくても楽しいことは作り出せることを改めて感じました。今後このような新しい取り組みのお手伝いができたらと思います。

ヒマラヤ保全協会イベントにスピーカーとして出席

7月25日、駒ヶ根市JICA青年海外協力隊訓練所で開催されたNPO法人ヒマラヤ保全協会主催の「ヒマラヤ山麓100万本植樹達成記念イベント」に



で、筑北村での支援活動を発表しました。国内国外問わず、地域支援活動には共通点が多く、国外で活動する方々に多くの刺激を受けました。

(産業課 坂井・田中)

飲食店マップ訂正と内容変更のお知らせ

■マップ面に誤りがありました。正しくは、左図をご覧ください。



■「やさしい畑のどんとん」は予約のみの営業に変更となりました。■「月路」のおやきの具について以下の通り誤りがありました。(誤) 切干大根(正) 大根
お詫びして訂正いたします。

サロンでおしゃべり

先日、道平のサロンに参加させていただきました。参加者のみなさんのお手製のお漬物やお菓子をいただきながら、地域に古くから伝わる風習などについて

引き継がれる絵本

地域で活動している読み聞かせボランティア、坂北では「森の子おはなし会」、本城では「おはなしポケット」が活動しています。私は、おはなしポケットに参加させていただいており、月に一度、本城小学校の朝の時間で読み聞かせを行っています。各学年、各月ごとに何を読もうかと迷います。図書室で初めて出会う本もありますが、みなさん、我が子に読んでいた本やお気に入りの本なども読まれることが多いようです。

私も、小さい頃に親に読んでもらっていた本も読みました。愛着のある本なので、子どもたちにも読むことができたらいいなと思う。その中で、とんち話も高学年に読んでみたのですが、オチを言い終わっても笑いの反応もあまりありません。今の子どもはあまり身近でないのかな。そこでの反応も欲しくなってしまうのですが、忘れた頃にプツと思いついて笑ってくれる。地域の人たちが、子どもや学校と関わり、活動をしていることがとても大切なことだと思えます。長年活動されているメンバー方は、「〇〇ちゃん大きく



総務課村づくり係 高橋桃

今月の話題

天蚕卵から飼育していた我が家のやまこ(天蚕の幼虫)。口から糸を吐き、6月末にはきれいな緑色の繭を作りました。羽化して蛾となり、卵を産み付けました。

私に天蚕を教えてくれた方、

飼育林を見に来てくれた近所の方、繭を写真におさめてくれた方、天蚕繭を下さった方。天蚕を通じて出逢った方々、本当にありがとうございました。

話は変わって、里の駅「坂北みらい宿」で、話題になっていることについて書きます。

「坂北みらい宿」は、「誰でも気軽に寄れる場所がほしいね」といった声から始まりました。

「宿」は「じゅく」と読みます。毎週金曜日の午後、福祉センターの老人室で開いています。先日、いつも寄ってくれるおばあちゃん、「買い物」の話で盛り上がりました。商工会で行っている移動販売車の「お互い様ネットワーク」を利用しているおばあちゃん。

「お買い物は、自分で注文したものを配達してもらおうのと、自分で手に取って選んで買うのとどっちがいい？」と聞くと、「やっぱり、自分で選びたいねえ」とのこと。

お互い様ネットワークに同行させていただいた時にも感じたことですが、お客さんはかごを持って嬉しそうに買い物をしていました。スタッフとの会話も楽しみの一つようです。今後、高齢者のお買い物の在り方

でお話を伺いました。ちょうど七夕の時期だったので、七夕に関する色々な話が聞けました。昔は、七夕の前日の夜から着物を虫干しするのが習わしだったそうです。また、七夕飾りの笹を畑に立てておくとか、作物に虫がつかないとか、モグラ除けになるとか言われているそうです。どれも初めて聞くことばかりでした。

今は子どもがいないから七夕も飾らなくなったけど、昔はね」と話しながら、でも「昔はこうだった」は家の中では禁句よね、昔は昔、今は今、でやっといかないとね!と言うみなさんの言葉が印象的でした。

祖父母と同居した経験のない私にとっては、ほとんど聞く機会がなかった「昔の話」。確かに、現代の生活には馴染まないことも沢山あるかもしれませんが、おばあさんのそのまたおばあさんの代から受け継いできたような習慣や言い伝えには、現代の生活にも活かすべき知恵が詰まっているような気がします。これから、各地区のサロンにおじゃましたいと思っています。みなさんの「昔の話」をぜひ聞かせてください。

総務課村づくり係 滝沢麻理

について、調査していきたいと思えます。

総務課村づくり係 山本繭

ひと言欄

家庭菜園でオクラができました。なんとなくアメリカにはないと思っていたんですが、南部料理ジャンバラヤなどでも使われるんですね。発音はオックラです。

(田中)

草ボーボーの田んぼの稲刈りを手刈りで行う予定です。不要なハゼ棒・千歯こきもしくは足踏み脱穀機・唐箕がありましたら、お譲りいただけませんか?

(坂井)

修那羅森林公園でキャンプをしました(コテージ泊ですが)。夜はBBQを楽しみ、筑北の夏を満喫しました!

(滝沢)

四阿屋山に登りました。坂井ルートは結構スリルがありますね。頂上で聞く正午の「ふるさと」。いつも聞いているのになんだか新鮮でした。

(高橋)

遊びに来た両親に、我が家で採れたスイカをお土産に持たせました。久しぶりに会った父が、娘にひと言。「もんぺ姿がよく似合う!」

(山本)

平成26年度コミュニティ助成事業活用実績

一般財団法人自治総合センター及び公益財団法人長野県市町村振興協会が宝くじの社会貢献広報事業として行う宝くじの助成金で整備しました。

《一般財団法人自治総合センター》

番号	事業名	実施団体	事業内容	助成金額
1	一般コミュニティ助成事業	中村区	のぼりポールの整備	2,400千円

《公益財団法人長野県市町村振興協会》

番号	事業名	実施団体	事業内容	助成金額
2	一般コミュニティ助成事業	乱橋区西村常会	山車の整備(修繕)	1,300千円



乱橋区西村常会



中村区



今年のオータムジャンボ宝くじは、 1等・前後賞合わせて3億9,000万円

この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや地域住民の福祉向上のために使われます。
長野県の販売実績により配分されますので、県内の宝くじ売り場で買い求めください。

【発売期間】 平成26年 9月19日(金)～10月10日(金)
【抽せん日】 平成26年10月17日(金)

- **主 催**
裁判所、検察庁、弁護士会、法務局
- **開設日時**
平成26年10月1日(水)
午前10時～午後4時まで
- **開設場所**
長野地方・家庭裁判所松本支部庁舎内
松本市丸の内10-35
- **相談内容**
金銭・土地・交通事故等の問題、離婚・扶養・相続等家庭内のもめ事、差別・いじめ等の人権問題、遺言や任意後見契約などの公正証書に関する相談など。
- **お問い合わせ先**
「法の日」週間実施委員会
電話 0263-332-3043

無料法律等相談所を開設します
「法の日」週間(10月1日～7日)にちなんで、無料で法律・人権・調停及び公証についての相談所を開設します。
お困りの方は、お気軽にご利用ください。(秘密厳守)

『夏まつり筑北』が開催されました

筑北村夏まつり実行委員会主催の『夏まつり筑北』が7月26日(土)坂井小学校校庭で開催されました。当日は好天に恵まれ、多くの方が来場し会場はにぎわいました。
午後3時、身を焦がすような真夏の太陽が容赦なく照りつける中、実行委員長の開会宣言に続き、消防団ラッパ班によるラッパ吹奏で祭りがスタート！
会場の特設ステージでは、アルホルン吹奏、フラダンス、藤森敬一さんのミニライブ、サザンオールスターズトリビュートバンド桑田研究会バンドのライブなど実行委員が企画したイベントが実施され来場者を楽しませていました。



桑田研究会バンドのライブ

また、筑北村非公認キャラクター(カエルの着ぐるみ)の『ケロッシー』が登場し、来場者をお出迎え、ステージイベントにも飛び入り参加するなど、その愛らしい容姿で笑いを誘い会場を沸かせていました。
今年は小中学生のステージ発表の機会が設けられず、残念との声も聞かれましたが、そのかわり、子ども向けの参加型イベントには大勢の児童生徒の参加があり、盛り上がっていたと思います。



参加型イベント とび箱

新たな試みとして、これまでのお楽しみ抽選会が変更され、出店者の協力のもと、屋台の商品が当たるくじの付いたポケットティッシュが来場者に配られました。その場で当たりが分

かり好評のようでした。

昨年から取り組み始めたゴミの持ち帰り運動『エコプロジェクト』についてもスムーズに行えていたと思います。

会場内では、肩ひじ張らずに住民の皆さんが素直に祭りを楽しんでいる様子が伺えました。多くの方々、とりわけ子どもたちには夏休みの良い思い出となったのではないのでしょうか。

祭りのフィナーレを飾る花火は会場のすぐ近くで打ち上げられる花火の迫力に大きな歓声があがっていました。

実行委員、スタッフの方々の対応も良く、トラブルもなく、多くの方々に集まっていた大盛況のうちに終了できたことに感謝します。来年もまたみんな笑顔で会えるといいですね。

夏まつり実行委員会からのお知らせ

筑北村夏まつり実行委員会では、この秋にイベントを計画していましたが、諸般の事情により今回は開催を見送ることにしました。より多くの方に納得いただける、より良いイベントに

していくため、今後検討を重ねてまいりたいと思います。

また、実行委員となつて一緒にイベントを計画していただけるメンバーを募集しております。我こそはという方、実行委員会事務局 役場総務課企画財政係(662211)までご連絡ください。

村職員の懲戒処分について

窃盗及び建造物侵入の罪に問われていた、総務課付主事久保田康司(29)を平成26年8月25日、懲戒免職としました。

同日、諏訪簡易裁判所で開かれた判決公判で、懲役2年6月執行猶予3年の判決があり、このことを受け、地方公務員法及び筑北村職員の懲戒に関する条例の規定により処分しました。

このことについては、村民の皆様をはじめ、関係各部署等への信頼を損ねることとなり深くお詫び申し上げます。

今後、全職員に対し、公務員としての自覚と規範意識の再確認を促し、再発防止と信頼の回復に努めてまいります。



10月10日は目の愛護デーです



一生使う目を大事にしましょう！！

目は6歳で視力1.0
動体視力前後左右の距離感もほぼ完成します



子どもは目の疲れを感じにくいといわれています。目を使い過ぎていても症状もわかりにくく目が悪くなっていたことに後から気付くことも…。

Q: 親が近視なら、子どもも近視になるの？

A: 近視の原因はまだわかっていませんが、遺伝だけではなく、環境も重要といわれています。親が近視でも、環境を整えてあげることで近視にならないのです。

震災時にメガネが見つからず、何も見えない中で逃げるのが難しかった。

視力が悪いと憧れの職業につけない場合もあります。

【大切な目を守り育てるために注意してほしいこと】

- ・体をたくさん動かす。(成長に合わせた楽しい遊びをたくさんする)
- ・早寝、早起きで生活リズムを整え、脳の発達を促す。・よく噛んで食べる。
- ・テレビやゲームは時間を決めて。(つけっぱなし、同じ映像を何度も繰り返して見るのは非常に危険!!)〈LEDライトのブルーライトが目の疲労を高めるともいわれています。〉
- ・3D画像は、6歳以下では見せない方がよい。・本や絵本を読むときは、寝転んだり手暗がりで見ない。
- ・遠くの景色や星空を親子で見る。

他にもたくさんありますが、できるところから始めましょう。

困ったこと、不安に思うことはいつでもご相談ください。

「うつ病」
(1) うつ病とは
「つらいことや悩みがあつて落ち込み、何もする気が起きない」こうしたことは誰にでもあります。けれどもつらい状態が2週間以上続き、日常生活に支障が出るようなら、うつ病を疑ってみましょう。
うつ病は、様々な出来事や体験で感じる強いストレス、過労、性格や考えなどが相互に影響し合い、脳内にトラブルが生じて心のエネルギーが低下してしまう病気です。

知っておきたい心の病気

自殺の原因は様々でも、その多くは何らかの問題や悩みによって、心理的に追い詰められた末の死です。大切な命を救うために、自殺やうつ病などの心の病気について正しい知識を持ち、偏見をなくするとともに、身近な人のいつもと違う変化に気づいたら、話を聴き共感し、専門家につなげ、周りで支え、助け合っていきましょう。

(2) うつ病の症状

気分が沈む、何事も悲観的にとらえる、自分を責める、死にたくなる、何もやる気がしない、興味や関心がなくなった、眠れない、食欲がない等

(3) うつ病？と思ったら

早期発見・早期治療が早期回復につながります。ためらわずに専門医(精神科等)を受診しましょう。また村で行っている相談等もご利用ください。

・精神保健相談

精神科医による相談・訪問が受けられます。

10月31日(金)

1月30日(金)

3月30日(月)

いずれも午後・予約制です。

・カウンセリング

月3回

(日程は4月各戸配布参照)

人間関係の悩み・子育てのストレス・不安などお気軽にご相談ください。

・相談を希望される方は、住民福祉課 保健師へお申込みください。
(66-2111)

～村長、関川芳男さんに聞いてみました～

*****私の健康法*****

Q: どのように一日を過ごされていますか。

A: 毎朝5時に起き、約2時間畑仕事をし、朝食づくりをすることが日課です。そして役場に出庁し、1日の公務をこなし、夜は大体9時半頃に寝ています。

Q: 健康でいるために実践されていることはありますか。

A: やっぱり食事が一番大切かなと思っています。

幼い頃から親に言われたことで、1日30種類の食材を食べるようにしていることと、食事の質を朝食は金、昼食は銀、夕食は銅と言うように、朝食を一番大事にし、夕食は少なめにします。

朝食では、畑で収穫した野菜と、家で飼育している鶏の卵を使った料理をよく食べます。卵は30年間買ったことがないですね。卵を産まなくなった鶏は圧力鍋を使ってサムゲタンも作ったりします。

※サムゲタンとは…韓国料理の一つで、鶏肉と高麗人参やもち米、ナツメなどを入れて煮込んだ料理。



今の楽しみは…
外出先でその土地の野菜苗や種を探し、自分の畑で育てること。

トマトは50本栽培しているので、皮むきしたトマトを瓶詰にして煮込み料理等に使ったり1年を通し食べています。

肉や魚も食べますが、その分野菜も多くとるようにしています。

お酒と甘い物は好まず、間食もほとんどしないですね。

こんな食生活をしているので、風邪などはほとんどひかないですね。

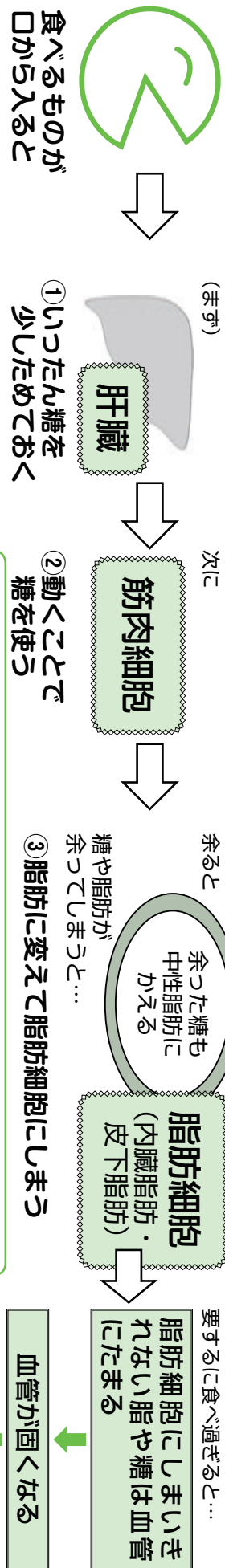
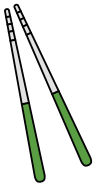
Q: 今気になっていることはないですか。

A: 最近運動不足になってしまい、体重が若干増えてしまいました。58歳までは野球もしていましたが、筋肉が脂肪に変わってしまったかな…腰痛もあるので朝など布団の上で腹筋やちょっとした体操をしています。なかなか改善されませんね。もう少し運動なども取り入れてみようかなと思っています。(只今ウォーキングなど出来ることを模索中)

年に1回は人間ドックを受診し、その結果から定期的に医療機関にもかかりながら健康状態はチェックしています。健康でいるために自分のできることは気にかけているかなと思っています。住民のみなさんにも健康でいてもらいたいですね。

～家庭的な一面と室内よりも野外での活動を好む村長、関川芳男さんのお話でした～

(インタビュー: 住民福祉課 健康づくり係)



血管を守る生活術

効果をあげる3つの習慣

血圧を測る

高血圧でないために血圧を上げないために血圧測定を習慣にしておく



すぐできそう。毎日できそう。カレンダーのすみに記録して毎日の変化をみてみよう

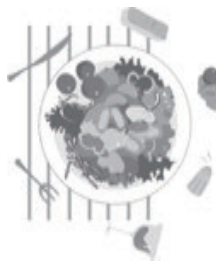
体重を測る

どうして昨日より今日の体重が増えた(減った)のか朝の体重は今日の食べ方を教えてくれます。



(野菜についての詳しくはホットスポット2014.3月号をご覧ください)

野菜からゆっくり食べる



ゆっくり食べること大切なインスリンが効率的にききます。限りあるインスリンの使い過ぎを防ぎます。食物せんいの効果でいらぬものを(余った糖や脂肪、塩分)吸収して体のそとへだしてくれます。食後の高血糖を防ぎます。野菜でおなかふくれ、満腹感が得られます。

そうならないための

インスリンが働くことでそれぞれの仕事をします。

NPO 法人寝たきり半分推進協議会
長野市大岡診療所 医師 内場 廉 先生の講演より
著書：「糖尿病で寝たきりにならないための血管マネージメント」

<内場先生のコメント>

家族の少しの気づきが、子へ孫へ良い(食)生活が受け継がれていきます。びんびんごろり(寝込んで1か月)で、寝たきりを防いで行きましょう。予防は自らが行うことです。

公証制度について

法務省と日本公証人連合会では、毎年10月1日から7日までの1週間を「公証週間」と定めて、皆さんに公証制度を正しく理解していただくとともに、この制度の利用を呼びかけております。

公証制度は、私たちの日常生活において紛争が生じないよう未然に防止し、法律上の権利や義務を明確にし安定させることを目的として、証書の作成等の方法により、一定の事項を公証人に証明させる制度です。

この公証事務を担当する公証人は、判事、検事、法務事務官などを長く務めた法律実務の経験豊かな者の中から法務大臣が任命した法律の専門家です。

次のような約束事には公正証書の作成をお勧めします。

- 遺言
- お金の貸し借り
- 不動産の売買や貸し借り
- 離婚に伴う養育費や慰謝料等の支払い

○任意後見契約(公正証書による必要があります。)

大切な契約や取引において公正証書は皆さんの権利を正しく確実に守ってくれます。

長野地方法務局
長野公証人会

坂北村・合併10周年記念映像撮影について

平成17年10月11日、旧本城村、坂北村、坂井村の合併により筑北村が誕生して以来、来年度で合併10周年を迎えます。

村ではこれを記念して、村のさまざまなイベントを中心に映像を撮影しています。

また、本城小学校・坂北小学校が学校統合により今年度末に閉校を迎えるため、あわせて閉校記念映像の撮影も行っています。

今後も、撮影者が村内のさまざまな所に出向いて撮影することになります。村民の皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

普通救命講習会開催のご案内

普通救命講習会を次のように開催しますので、是非ご参加ください。

- 開催日時 平成26年10月25日(土) 午前9時から正午まで
- 開催場所 麻績消防署
- 定員 20名
- 受講料 無料
- 申し込み方法
 - ・麻績消防署または明科消防署に直接受講申込書記入、もしくは電話申し込み。
 - 麻績消防署 電話 67-2992
 - 明科消防署 電話 62-2992
 - ・申込締切日 10月20日(月)

6 内容

麻績消防署と明科消防署では、傷病者への救命効果向上を図るため、普通救命講習会を開催します。大人を対象とした人工呼吸や胸骨圧迫(心臓マッサージ)の実技、AED(自動体外式除細動器)の使用方法、出血時の止血法の応急手当などの講習を行います。

なおガイドライン2010への切り替えにより、心肺蘇生の手順が若干変更になっています。

筑北村議会だより

第53号

平成26年9月19日発行

編集 筑北村議会だより編集委員
〒399-7601
長野県東筑摩郡筑北村坂北2187番地
電話 0263-66-2211
FAX 0263-66-3656
ホームページ
<http://www.vill.chikuhoku.lg.jp>

本議会の映像は
筑北村ホームページから
ご覧になれます。

議会6月定例会

一般質問

サッカー場建設について



横山 敬 議員

質問 新聞等で、サッカー場の予定地及び完成時期について、さも決定されたかのように報道されているが状況を尋ねる。

村長 サッカー場建設は、村内の既存施設の有効活用を図ることと経済効果が目的である。建設予定地は、本城野球場隣のサブグラウンドを活用する計画だが検討が必要である。村内でも

サッカーファンが急増しており、本城体育館でもフットサル大会が年間を通じて開催され、主催者の協力を得ながら碧館への宿泊や、ちくほつくるのパン、もえぎ亭のおやきの出張販売など、選手が購入することで売上に貢献している。サッカー場ができることで地域が連帯することにより、計り知れない経済効果があると思

っている。サッカーができる多目的運動場としての建設にするか、JFLの認定を取れる規格で建設するかによって事業費が大きく変わる。財源も含め検討事項が多々あるが、慎重に判断し、順調に進めば完成時期は平成28年度を予定している。

質問 大体的な内容は理解できたが、新聞報道等の前に、まず村民の皆様にはわかりやすく、内容等を精査して発表していただきたい。



サッカー場予定地

水源周辺の整備について

質問 村長公約の中にもあった水源周辺の整備について、現在の整備状況及び今後の予定について尋ねる。

村長 水源周辺の整備について、小範囲としては、井戸水源以外の水源の周囲に侵入防止柵を設置し、容易に立ち入ることができない状態である。広範囲では、旧坂北村において平成7年に長野県水環境保全条例の規定により、四阿屋水道水水源保全区域160ヘクタールの指定を受け現在に至っている。今後はまず栃平水源域、以降順次保全区の指定をしていく予定である。

産業課長 栃平水源域の周辺環境整備として森林については本

村の観光スポットの整備と宣伝について



佐藤 文男 議員

質問 村には沢山の観光スポットがあるが、現状の整備状況と今後の予定について尋ねる。

産業課長 豊かな自然と歴史・文化に恵まれた本村には沢山の観光スポットがあり、多くの施設において、駐車場やトイレ、歩道、案内看板などの整備を行ってきた。今後も要望等あれば、内容を精査して整備を進めたい。

質問 篠ノ井線の複線化の要望について、村の考えを尋ねる。

村長 長野県JR連絡調整会議に複線化要望を提出しているが、回答は貰えていない。今後前述の協議会の中での検討課題として、要望していきたい。

質問 長野自動車道、本城バスストップへのスマートインターチェンジの設置要望について、村の考えを尋ねる。

村長 各関係機関と意見交換した中では、安全設計上やトンネルが近いことなど、非常に難しい状況である。今後、他種・他方面から調査研究し、可能性を模索していく。

公有地の取得について



待井 安登 議員

質問 合併以降、公共事業における用地取得など、概要について尋ねる。

総務課長 道路等の土地取得は

年度以降、重点的に整備を進めていきたい。

質問 今の説明で、一番大事なのは安心・安全な水ということであり、ぜひ計画どおり進めていただきたい。

質問 取得後の登記状況についてはどうか伺う。

総務課長 建設工事に伴う取得分の235筆中、218筆が登記済、17筆が相続で未登記となっている。

質問 今後の登記事務について、有資格者の定期委託など、今後の対応についてどうか伺う。

村長 現在1名で対応しているが、今後、臨時的に有資格者の委託など検討していきたい。

健康な暮らしづくり

質問 村の国保一人当たり医療費が高額で横ばいの中、データ分析など、現状について尋ねる。

村長 健康で快適な生活を送る

質問 本村は高速道路や国道、JR等が通り、近隣市村にも比較的近く、ベッドタウンとしても有効なポジションである。現在の松本・明科発着の電車を聖高原駅まで変更するよう麻績村と共同でJRへ要望してもらいたいかどうか。

各種交通機関への要望について

質問 マレット人口も増えており、健康増進、観光面でも検討願いたい。

村長 現在の当地域の利用状況では厳しいと思われる。今後立ち上がる篠ノ井線松本地域活性化協議会（仮称）で、利用率向上の研究を行い、長野県JR連絡調整会議に要望していきたい。



筑北村観光マップ

パンフレットの作成、配布、ホームページへの情報掲載である。ちくプロのブログの閲覧者が多いので、よりよい情報発信を模索していく。また各種の機会を利用しPR活動を積極的に行う。

ホットスポットちくほく

質問 村には4カ所のマレットゴルフ場があるが、冠着と本城以外ほとんど使われていない状況である。冠着マレットゴルフ場について、36ホールに増設、駐車場増設、道路への案内標識設置の要望が出ているが、村としての考えを尋ねる。

教育長 3月に関係者より請願書が出ており、現場調査など検討を進めてきた。大きな難題は、

村長 公務員の皆さんに的を絞ったかどうかとの意見を受けている。転勤になっても松本・大

質問 平成25年度は消費税引上げ前の住宅駆け込み需要が起きた。松本市が1327棟、安曇野市が614棟に対し東筑摩郡は80棟。内訳は山形村が52、朝日村15、麻績村9、筑北村が4である。需要はやはり松本市や安曇野市に集中し、周辺部では北安曇郡や山形村へ流れる傾向にある。そういう中で、どういった人達をターゲットに考えておられるか伺う。

村長 若者定住のため家の新築は百万円の補助、改築等にも補助金を支給しており好評である。こうした補助は今後も継続したい。一方、坂井地区の杉ノ越団地は6区画が残っており、本城地区の竹之下団地は6年前に1区画が売却された以降売れていないのが現状である。住宅メーカーからは「交通網など立地条件は非常に良い」。日照時間が長いので太陽光発電住宅の提案も受けている。まずは両団地の売却を中心に進めていく。

質問 もっと多くの空き家があると感じている。空き家バンクへ登録されない理由を伺う。

総務課長 家財等が残っている家の改修が必要、といった個別事情がある。空き家バンクへの助成策として家財処分費用の助成や中古住宅取得に関わる定住促進の助成があり、こうした制度の利用を呼びかけたい。

質問 村営住宅の空きが増加傾向にあるのではないかと伺う。

建設課長 村営住宅は公営含めて現在104戸あり、うち12戸が空いている。増加傾向にある

町・長野・上田、どこへも通える状況にある。鉄道についても聖高原発着の復活などきちんと運動していく。

質問 空き家バンクの活用についてはどうか現状を伺う。

総務課長 平成24年度からスタートし、この2年間の物件登録数は37軒で、15軒が契約された。このうち11軒、23人が移住されてこられた。25年度の物件見学者は30名以上、空き家情報の提供待ち希望者は51名となっており、空き家の需要はますます増加していくと予想する。

質問 元気な村づくりをどのような考えで実施されるのか、村の基本実施計画を尋ねる。

元気な村づくりの実施計画



竹之下団地…空き

ことは否めない。

質問 住宅が古いために敬遠されているのか、村営住宅の統廃合計画を含めて伺う。

建設課長 昭和45年築の住宅が一番古いですが、新しい住宅建設より今の空きを埋めていくことが先決であると考えている。

村長 実施計画に掲載された事業については事業の適性を考慮して、過疎債は住民が安全に安心して暮らすことのできる地域社会の実現につながる事業に、

質問 厳しい財政下にあるので、事業実施にあたっては補助金や地方債など、村に有利な条件で進めていただきたいが、村長の考えを尋ねる。

村長 総合計画後期基本計画に沿って、それぞれの項目の具現化実施のために予算計上した。

質問 総合計画で掲げる、自然に恵まれた「安心と活力」のあふれる住みよい村づくりのための、平成26年度の実施計画と、当初予算計上を尋ねる。

村長 国の補助等により新たに事業を実施することになったものの、計画が不十分で予算措置できず見送ったものもあるが、8割の事業を予算化した。実施計画は基本計画の施策に基づき、事業内容や実施時期を明らかにし、行財政運営の指針となるもので、計画期間は3年間であり、変動する社会情勢や財政状況に対応するため、毎年度見直しを行う。

質問 高齢化が進む中、今後の村の健康づくりについて尋ねる。

村長 総合計画により実施しているが、28年度計画終了後が重要と考えている。高齢者問題等も取り入れてやらなければならぬ。安心安全な住みよい筑北村をつくるために貢献していきたいと考えている。

質問 高齡化が進む中、今後の村の健康づくりについて尋ねる。

村長 総合計画により実施しているが、28年度計画終了後が重要と考えている。高齢者問題等も取り入れてやらなければならぬ。安心安全な住みよい筑北村をつくるために貢献していきたいと考えている。

ため病気予防に取り組むことは重要であり、医療費の抑制にもつながると考えている。また、各常会の健康づくり推進員の協力を得て、積極的な検診受診を呼びかけ、健康づくりにつなげていきたいと考えている。

住民福祉課長 国保一人当たりの医療費は41万5026円で、県平均を10万円ほど上回っている。現在25年度分について詳細分析を進めている。24年度は対前年比4万円ほど増加している。また、特定健診受診率は20年度が58・4%であったが、25年度は49・7%と下がっている。健康づくりの取り組みのため、健診結果の状況・対策を図表にしたチラシを作成した。今後、戸別訪問、指導に充分活用し、引き続き取り組みしていきたい。

質問 5年後、10年後の筑北村の姿について村がどのように考えているか伺う。

村長 村の将来像は筑北村の総合計画、建設計画の基本構想を基本としている。現在、後期総合計画でもこの方針に沿って計画しており、これらに掲げた内容を具現化していくことで村の活性化につながると考える。

質問 回答について数値的な指標があれば伺いたい。

村長 数値的指標の達成のため仕組みや環境整備が必要と考えている。例として、5年後の人口を5千人台で維持することや、18歳以下の若者人口割合も、合併当時の13・8%の水準まで引き上げたい。その他として通勤時間10分短縮、荒廃地面積5ヘクタール縮小、有害獣の駆除頭

筑北村の目指す
地域活性化の姿について



沖村 智 議員

質問 数値的指標の達成のため仕組みや環境整備が必要と考えている。例として、5年後の人口を5千人台で維持することや、18歳以下の若者人口割合も、合併当時の13・8%の水準まで引き上げたい。その他として通勤時間10分短縮、荒廃地面積5ヘクタール縮小、有害獣の駆除頭

質問 数値的指標の達成のため仕組みや環境整備が必要と考えている。例として、5年後の人口を5千人台で維持することや、18歳以下の若者人口割合も、合併当時の13・8%の水準まで引き上げたい。その他として通勤時間10分短縮、荒廃地面積5ヘクタール縮小、有害獣の駆除頭

数増加などである。

質問 地域活性化にも様々な取り組みがあり、重要なポイントは継続性と経済（お金）の活性化と考える。村として経済活性化について何か考えがあるか伺う。

村長 私の考えになるが、この地で収穫されたものを住民で味わい、好評なものを村外へ売っていく事が良いと思う。村内でじっくり研究していくことが一番である。

質問 昨日新聞でも報道されたが、村からウエルネス高校やサッカー場の提案がされた。年間の主要事業の計画書もいただいている中で今回新たな事業の提案をいただいた。現在検討している事業も含め、個々に事業を検討するのではなく、長期的な計画を立て、その上で早期に提案いただければ議会としても十分に検討できると考えるが回答願う。また、具体的には検討するための委員会などの設置を提案したいが考えを伺う。

村長 大きな事業を実施するにあたり、やはり事前に委員会組織を立ち上げ、住民の理解を得ながら計画していくことは当然

質問 昨日新聞でも報道されたが、村からウエルネス高校やサッカー場の提案がされた。年間の主要事業の計画書もいただいている中で今回新たな事業の提案をいただいた。現在検討している事業も含め、個々に事業を検討するのではなく、長期的な計画を立て、その上で早期に提案いただければ議会としても十分に検討できると考えるが回答願う。また、具体的には検討するための委員会などの設置を提案したいが考えを伺う。

質問 筑北村は定住促進について



太田 守彦 議員

ベッドタウン構想、
定住促進の進め方について

村長 一番は坂井地域のことであり、私自身も一番気になっている。今後は職員集落担当制を利用して、区等より要望があれば行政から出向いていくというスタイルに変えていきたい。そのような取組みから私の言っている「筑北村は一つ」が達成できると考えている。

り前のことであると考えている。

質問 行政は村の中でも最も住民の意見が集まりやすい場所である。そこで、今一番多い住民ニーズ（要望）はどのようなもので、それに対し村はどう考えているのか尋ねる。

筑北村の住民ニーズについて

教育長 中学校をいかに統合する

質問 麻績村長は最近になって、坂井小と麻績小を統合したい旨の意思を表明した。筑北村長は、本村からの問題提起に相手側の応答が無い事で、筑北村の中で統合したい旨を表明しているが、坂井小、麻績小の再度の検討を願いたい。が所信を尋ねる。



山田 寿 議員

学校統合について

質問 筑北・麻績両村の学校統合を検討するのに長い年月が経過している。原因の一つには、議論の中味が行きつ戻りつしていると考えられる。最終的には議会の議決であるが、両村協議会での権限が明確でないが、この点について尋ねる。

教育長 両村で認識の差異があった。当村の見解は「諮問機関である」とし、麻績村では「最高議決機関である」との見解を持っている。

質問 麻績村長は最近になって、坂井小と麻績小を統合したい旨の意思を表明した。筑北村長は、本村からの問題提起に相手側の応答が無い事で、筑北村の中で統合したい旨を表明しているが、坂井小、麻績小の再度の検討を願いたい。が所信を尋ねる。

事業を選択していく。



東条集落廃水処理施設改修

学校統合について



小山 正博 議員

質問 3月、5月の筑北・麻績両村の8者会談の内容と進捗を尋ねる。

村長 3月の内容は、両村学校等検討会議の開催経過の確認と両村長の意見交換だった。麻績村長は、保育園と小学校は当面

現状維持し、中学校は統合に向けて協議を深めたいということだった。筑北村としては、2年余り検討したが歩み寄りが出来ないで、新たに筑北村内で1中学校、1小学校、1保育園を提案した。

5月の内容は、前回の両村長の統合案について検討結果を報告した。麻績村長は住民へ、麻績村の上申書で説明してあるの、現時点で180度違う案は考えられないということであり、私は、筑北村は一つで方向性を出したいとした。意見交換で麻績村長から、麻績小と坂井小の統合を早急に進めるという提案が出され、筑北村としては真摯に受け止め検討することにした。本村からは提案した方向性案を麻績村で検討してもらうよう要請した。

質問 前回2回の議会でも、村長は坂井地域での懇談会を開くということだったが、今後の進め方はどうか。

村長 最初の年として、職員集落担当制を通じ、区長・常会長と相談して、私の方からいつでも出向きたいと考えている。

て「部活動モデル」の策定を進めており、来年度から実施したいと考えている。

村財政について

質問 合併算定替の終了を控えて、交付税の額はいかほどになるかを伺う。

村長 平成32年度には予算額は30〜33億円になると見込む。物件費、維持補修費、扶助費の増加の見込まれる中で、国県の交付金、助成事業を積極的に導入し、財源の確保に努力したい。

質問 40億円ある合併特例債の用途について伺う。

村長 総合計画に沿って出来る限りの事を取り入れる。また、基金として残す方法もあるので、今後の検討課題としたい。

松くい虫について



鎌田 欣子 議員

質問 松くい虫によって枯れて伐採された松をどのように処理するのか尋ねる。

産業課長 被害の拡大等を抑制するために伐倒燻蒸処理をしている状況である。それを更に処分、あるいは片付けるといことは考えていない。

質問 ビニールに覆われているがそのビニールは何時どのような処理するのか尋ねる。

産業課長 県の林務課へビニールの撤去を行っている自治体はあるか確認したところ、東信地区で以前あったが経費がかかりすぎるため現在は実施していないとのこと。当村でもビニールを片付ける予定はない。

質問 環境にいい、自然に還るビニールを使用する予定はないか尋ねる。

産業課長 自然分解シートは値段が高い。また、破損しやすいため作業効率が悪く、安全対策でもかなり気を使わなくてはならない。あくまで個人林の対策であり、被害抑制のために現在処理をしているということ、それ以降については今のところ村として考えていない。

豪雪被害への

村独自の支援策について

質問 最終的な被害状況と、パイプハウス等農業施設への支援策を尋ねる。

産業課長 パイプハウスの被害棟数は49件で67棟、面積が4904㎡。被害農家へ説明会を開催し、内容的には最大9割の支援事業である。

質問 補助対象が非常に厳しく、売り上げが50万円以上か、耕作面積が3反歩以上か、10年間営農を継続することが必要とのこと、2〜3名が説明会の途中で帰られた。それを見て私は非常に残念に思った。村独自の支援策が出来ないか尋ねる。

村長 高齢者が農業をしている中で、生産意欲を無くした農家もかなりいる。村単独での見舞金を検討したが、筑北村独自で実施するわけにもいかず、東筑摩郡5村でも、財政が厳しく国の支援に頼るしかないというのが現状である。

と発電会社「グリーン発電会津」の2事業所でした。

前者では2箇所のチップ工場と広大な貯木場へ案内されました。「若者が地元へ戻ってきてくれ、ベテランから林業ノウハウ（伐採や運搬等）を引き継い

間伐材や松食い被害による伐倒材等は需要が低く、未利用材とも呼ばれます。これらを山から運び出し、大型破砕機がチップ状に細かく砕き、その燃焼熱で蒸気タービンを回して発電するというのが一連の発電サイクルです。因みに長野県では塩尻市の「信州Fパワープロジェクト」が27年4月の稼働を目指して建設中です。

8月19日より福島県会津地方へ、議員視察を行いました。

温暖化やCO2対策として、また原子力に変わるエネルギーとして、注目を集める自然エネルギーの一つがバイオマス発電です。

木質バイオマス発電の先進地視察

太田 守彦 議員



松くい虫 破れたビニール

質問 地権者が片付けるのは大変難しいので、ぜひ村として考えて欲しい。次に、松の代わりに桜・ツツジ等を植えるなど、植栽を変更する考えはないか、また、松をチップ燃料として使っていく予定がないか尋ねる。

産業課長 村としては伐倒燻蒸処理に全力を注いでいる状況である。チップ燃料については、現在、塩尻市にバイオマス発電所の建設が予定されていたり、安曇野市の長峰山森林体験交流センター「天平の森」の風呂用の高性能ボイラーに使用している例があり、これから研究していく必要があると考えている。

村長 植栽の変更・松の後利用はこれから検討し、対策を考えていく必要がある。

学校給食について

質問 学校・保育園の給食の材料、特に米・パン・野菜の地産地消について尋ねる。

教育次長 米については長野県産を76〜78%、うち筑北産を40〜50%使用している。野菜は3地域の直売所から購入しているが時期・量の問題があり、賄えないものは地域内の他店舗から購入している。パンは「ちくほつくる」のパンを給食委員会で検討していただいたが、県学校給食会の示す栄養基準・単価・食味の問題等があり、現在は長野県給食会委託の業者から購入している状況である。

質問 給食代は1食当たり小学校290円中学校320円だが、その無料化は考えているか伺う。

教育次長 無料化すると村全体で年間1980万ほどになる。食べる物は個人負担という考えの基、現在は考えていない。財政面等踏まえ慎重に検討したい。

提言 給食代の未収はひとりもない状況の本村。都会ではあえて払わない家庭が多い昨今、「子育てに優しい」村づくりをお願いしたい。

でいる。会津の山を守りたい」という社長さんの言葉が非常に印象的でした。

後者では、この設備が会津地方の一万世帯へ電力供給している事、送電設備や1日千トン弱の冷却水の確保など立地条件の難しさなど説明を受けました。塩尻のFパワーは2万世帯であり、採算的にも一定規模が必要との事でした。

二日間の視察を通して、会津地方の人々が山や森林をとっても大切にされており、森林保全に対する意識の高さを痛感しました。杉を中心とした立派な森林が広がり、松食い被害の枯損木が一部残るものの計画的に伐採しておられるなど、まさに先進地だと感じました。

本村の豊かなアカマツ林を維持し、松茸などの特産品を通じて村の知名度向上を図る事、林業再生に向けた取り組みの参考となったほか、化石燃料から自然エネルギーへとシフトさせることは、地元の雇用創出や活性化に繋がることもわかり、時流に応じた視察ができたと思います。

議会第3回臨時会

7月10日第3回臨時会が開催されました。

- ・筑北村場外離着陸場設置及び管理に関する条例の制定
- ・筑北村一般会計補正予算及びとくら温泉施設特別会計補正予算

3件の議案が提出され、可決されました。



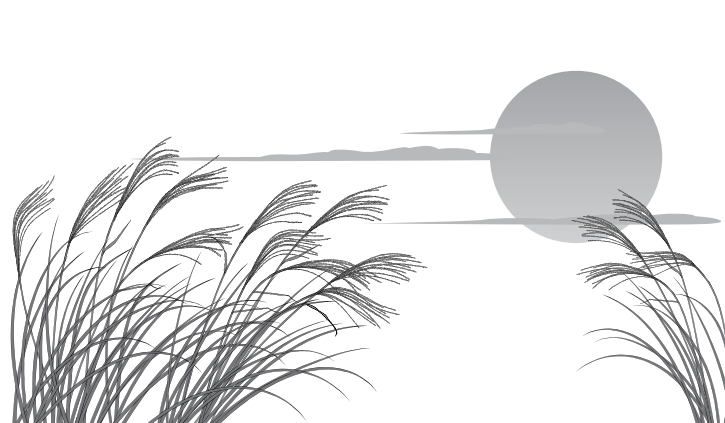
坂井地域に建設された場外離着陸場

議会第4回臨時会

7月24日第4回臨時会が開催されました。

- ・学校施設環境改善交付金事業屋内運動場3校（坂北・坂井・聖南）非構造部材耐震化工事請負契約について

議案が提出され、可決されました。



筑北村では、「国道403号矢越防災事業の早期完成について」を提案し、沖村智議員が提案説明をしました。地域住民が切に求める安全で安心な生活ができる道路基盤の整備推進として、矢越防災事業の早期完成と、トンネルから安曇野市国道19号接続までの線形解消推進に關しての事業化を要望し、支援をお願いしました。

引きつづき（株）地元カンパニーの児玉社長より、講演があり、「故郷を離れた若者を活用して、故郷を活性化しよう」の演目で、有意義な話がありました。



木質バイオマス発電所

第65回東筑摩郡村議会議員大会が開催される

佐藤 文男 議員

9月2日筑北村において、地元国會議員・県議・松本地方事務所長・松本建設事務所長・各村長を来賓に招き、東筑摩郡村議会議員大会が開催されました。当日は、前山議会議長が大会長を務め、各村より提出された一議題を提案審議し、全提出議題が決議されました。今後東筑摩郡議長会では、決議されたそれぞれの案件について、国・県の関係機関へ要望していきます。



第65回東筑摩郡村議会議員大会

選定作品



来年4月に開校する「筑北小学校」の校章の募集をしたところ、村内外から31点の応募があり、本城小学校・坂北小学校統合準備委員会と教育委員会で審議いたしました。

その結果、村花のツツジをモチーフにした安曇野市穂高の高橋さんの応募された作品が選定されました。

選定された作品を基に校正を行い、校章・校旗の完成は12月中の予定です。

【お問い合わせ先】
こども支援課

電話 67-11161

筑北村 公民館報

第53号

平成26年9月19日発行

〒399-7711

長野県東筑摩郡筑北村坂井 5711-1

電話 0263-67-1161

FAX 0263-67-2170

ホームページ

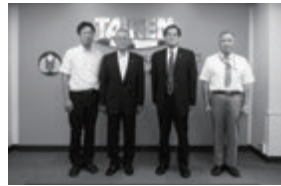
<http://www.vill.chikuhoku.lg.jp>

私立広域通信制・単位制
日本ウエルネス高等学校筑北
キャンパス開校決定

本城小学校と坂北小学校が統合となり、筑北小学校が開校になることで、空き校舎となる本城小学校の後利用として、誘致を進めてきた日本ウエルネス高等学校筑北キャンパスの開校が、8月6日運営母体である学校法人タイケン学園（本部・東京都板橋区）の理事会で正式決定しました。

8月21日日本ウエルネス高等学校校松本キャンパス長の村山さんが役場を訪問し、校名を「ウエルネス筑北高等学院（仮称）」と村名が入る予定やスポーツ・ドクトリマー・理美容師養成の3コースを設けるなどの説明を致しました。

今後、村と学校法人タイケン学園（本部・東京都板橋区）との契約調印式を年内に行う予定です。



学校法人タイケン学園本部にて

心の伝言板 ③②

夏休みの人権学習

公民館では、子どもたちの夏休みに合わせて人権学習と映画上映会を行いました。大勢の子どもたちが参加して充実した楽しい時間を過ごしました。

人権学習では、生涯学習支援

ボランティア・子ども支援グループの皆さんから二つの紙芝居をしてもらった後、話し合いをしました。ボランティアの皆さんの熱演で紙芝居の世界に引き込まれた子どもたちは、登場人物の気持ち等について深く考え話し合うことが出来ました。

紙芝居「おとうさん」では、おとうさんに化けてぼうやを連れ去ってしまう化け物ベグーの気持ちについても、話し合う場面を設けてみました。

☆どうしてベグーは人間のおとうさんに化けたのでしょう。
・ いつも一人ぼっちでさびしかったから
・ 一人ぼっちはいやだったから
・ ぼうやといくと寂しくなくな

筑北村選挙管理委員会からお知らせ

長野県知事選挙の選挙結果
8月10日（日）に長野県知事選挙の投票が行われました。

投票率 59・97%
（前回比△7・4%）

有権者数 4,352人
投票者数 2,610人
*期日前投票者数 822人
投票率 18・89%

開票結果
有効投票数 2,593票
無効投票数 17票

告示から当日まで17日間と長い選挙期間でしたが、大勢の皆様にご協力をいただき、無事終了することができましたことに感謝申し上げます。

今後の選挙予定
・ 10月19日
筑北村農業委員会委員一般選挙
・ 平成27年4月
長野県議会議員一般選挙

議会日誌

7月

- 1日 松本広域臨時議会
- 10日 第3回臨時会
- 15日 麻績村筑北村学校組合臨時議会
- 16日 真田新田線改良期成同盟会
- 17日 松本糸魚川連絡道路長野県側ルート建設促進協議会総会
- 18日 議員研修会・143号期成同盟会
- 22日 国道403号道路整備促進期成同盟会総会
- 25日 大町麻績インター千曲線整備促進期成同盟会総会/県要望活動
- 28日 青木・麻績インター・新町間県道整備促進期成同盟会総会
- 28日 国道403号及び青木・麻績インター・新町間 県要望活動
- 30日 松本糸魚川連絡道路建設促進期成同盟会総会

8月

- 12日 土砂法説明
- 20日 松本・佐久地域高規格道路建設促進期成同盟会総会
- 22日 東筑摩郡村議会議長会第2回臨時総会
- 25日 国道403号道路整備期成同盟会中央要望

今年度の第54回長野県吹奏楽コンクール：中学校の部に、部員18名で臨みました。今回は、『大地の詩』の曲で、みんな一丸となって頑張って演奏しました。

演奏が終わった後のいい笑顔が印象的です。



♪ 聖南中吹奏楽部の 結果報告♪

- ★7月19日：中信地区大会・会場キッセイ文化ホール
21校参加の中で、金賞に輝き、県大会に進みました。
- ★8月8日：県大会・会場 伊那文化会館
この大会でも、銀賞の優秀な成績を収めました。

県大会に向けて、夏休みも返上して、朝から夕方まで、練習をしてました。



歌い終わった笑顔の子どもたち（岡谷カノラホール）

聖南中学校 長野県学校合唱大会

県大会出場

8月30日、岡谷市カノラホールで行われた長野県大会では、銀賞を受賞しました。9月27日ささげ祭にて歌いますのでお出かけ下さい。



パートに分かれて練習

本城小学校6年生 関川峻司君全国大会ソフト ボール投げ5位入賞

本城小学校6年生関川峻司君は、6月29日第30回全国小学校陸上競技交流大会「長野県代表選考会」で、ソフトボール投げで優勝し、長野県代表として、8月23日横浜日産スタジアムで行われた第30回全国小学校陸上競技交流大会「全国大会」へ出場し、全国47人出場の中、5位入賞を見事果たしました。記録は、自己ベスト66m64を上回る72m89でした。



村長らと記念撮影する関川君（右から2番目）

育成会リーダーキャンプ

8月6・7日やすらぎスポーツ広場キャンプ場で、小学5・6年生を対象にしたリーダーキャンプが開催されました。花岡公民館長の指導の下、KYT（危険予知トレーニング）研修では想定される危険箇所を指摘し合いキャンプ中の危険を回避できるように研修も行いました。



絵の中に危険な所はどこかな？

また班長、食事係、レク係を決め、それぞれが責任をもつて役割をこなすリーダーに必要な知識と経験を培いました。



上手に飯こう炊けました

青柳城山登山

坂北地域にある青柳城址公園は東山地区から車で登ることがほとんどですが、青柳地域ではかつて「城山祭」として多くの人たちが青柳宿からお城に登り宴を開いたとされています。現在は春に地区の役員が登るといふかたちが変わっています。善光寺街道開道400年の記念、居館跡県史跡指定40周年を記念した登山が9月6日に行われました。地元青柳地区住民を中心に参加し、歴史跡を見ながら登りました。



問屋本陣から出発

青柳宿 戦国時代青柳氏が中村集落から清長寺へ居館を移して形成したとされている。当時は下町、中町、横町と三地区に分けられた。問屋本陣があり、横町裏から清長寺へかけての畑には侍居敷跡がある。（坂北村誌下巻より）

青柳城は青柳氏の城であったが、武田信繁が川中島への拠点として改修。武田氏滅亡後は小笠原貞慶が川中島への拠点として、上杉景勝との間で城の取り合いで激戦の繰り返された地であった。（坂北村誌下巻より）

山道を登ると三の郭にでます。冠木門を通り虎口の先に一の郭に到着です。ここからは筑北地域を見渡すことができ、参加した人達は、かつてはここから敵陣の動きを観察したのだろうか？と思いつつ高速道路を走る車や収穫の時期をむかえる水田をみていました。



青柳城址公園の櫓門

この企画をした『切通しの会』では、10月末に広く一般からの参加者を集め、善光寺街道青柳宿から城山に登る企画を予定しているとのことでした。



優勝の竹場分館

夏の野球大会

坂北分館対抗野球大会

8月15日坂北地域恒例の分館対抗野球大会がやすらぎスポーツ広場野球場で行われました。今年で68回目となった伝統の大会ですが、近年は参加者が少なくなり選手集めに苦労しています。今年は5分館が参加してのトーナメント戦となり白熱した試合が展開されました。

決勝戦の竹場対青柳は好投手力投の接戦となり、両者譲らず同点で試合終了となりました。ジャンケン決戦の結果、竹場の優勝となり去年の雪辱を晴らしました。



始球式

坂井地域盆野球大会

8月15日に坂井地域盆野球大会が開催されました。本年度は高校生の参加者が多く、ベテランチームと若者チームの混合メンバーでの対戦となりました。前日までの雨で開催が心配されましたが、ベテラン勢も若者に負けまいと力の限りボールを追い、熱く楽しい試合になりました。

優勝 竹場分館
準優勝 青柳分館
第3位 昭和町分館
中村分館

関川村長生徒に語る

若い人達が帰って来れる村作りを！



3学年の『ふるさとプロジェクト』の総合的な学習として、関川村長をお招きして講話を聴きました。

関川村長は、合併の過程、合併後の現状や政策を生徒達に語りました。

生徒からの質問では、「保育園の保育料無料の財源はどうするのか?」「駅周辺の活性化はどう考えているのか?」等の鋭い質問が出ました。

質問にも村長としての考えを丁寧に答えていました。

生徒は、「麻績村の人達と仲良くしていきましょう。と語られた事がとても印象に残りました。」と感想を話しました。

筑北中学校だより



吹奏楽部 県大会出場 銀賞獲得

今年度は大編成の部で出場！見事に中信大会を突破し県大会に進みました。結果は大健闘で、銀賞を獲得しました。

久し振りの大編成での出場でしたが、他地域から出場した学校に気持ちで負ける事もなく堂々と演奏しました。来年に繋がる事の出来る一歩であり、生徒にも保護者にとっても大きな自信となりました。

四阿屋山の信仰

筑北盆地の鎮めとなっている四阿屋山は「水の神」「腹の神」「安産・子安の神」などの言い伝えが各地で信仰されています。毎年9月1日に四阿屋山頂にある「四阿屋神社」にて、大祭が行われているので、久しぶりに登山してみました。

このお祭りに、水利関係の坂井地域安坂地区の氏子総代と矢倉・中村・立川・岩戸各地区総代が集まり祭典が行われて、終了後に各地区から来た参拝者たちまで、御神酒が配られ、直会（なおいらい）をして、同時にお札が配布されていました。



本城ふるさと野球大会

8月14日お盆恒例のふるさと野球大会が本城球場にて行われました。あいにくの曇り空、第1、2試合は何とか持ちこたえたものの、降り出した雨にその後の試合は中止で、じゃんけんで勝敗を決めることとなりました。

かっぱせー!!



選手9人全員がじゃんけんをします。



雨のおかげで泣いたチーム笑ったチーム、悲喜交々の大会となりました。

優勝 聖南町
準優勝 田屋
第3位 東条1
八木

行ってみましょ見てみましょ

「足の神様」 坂井地域

今回は坂井地域熊の川地区にある「足の神様」を紹介します。坂井村石造文化財によると明治三十四年十月二十五日に造立され、石祠には「足尾大神」と刻まれています。同じ足尾大神の石祠は坂井地域の真田・杉崎修那羅にもありますが、熊の川地区の物は高さ110cmと大きく昔から地区の方々に大切にされてきたそうです。

今では訪れる人も減りましたが、昔は足を治したい人が新しい履物を供えてよくお参りしたそうです。

場所は新倉のバス停から熊の川方面へ細い旧道を少し登ったところ。分かりにくい場所にあります。是非探してお参りしてみたいかがでしょうか。



優勝の聖南町チーム

ホットスポット52号の

訂正とお詫び

25P「富蔵山・岩殿寺」の記事のうち、第1段7行目「岩殿寺の」及び同10行目「この長野県唯一の」を削除し、第3段10行目の「水野正直公」を「水野忠直公」に訂正させていただきます。

また、26P「善光寺街道めぐり」の記事のうち、15行目「真田家により再建されたお寺」を「小笠原氏の時代に再建されたお寺」に訂正させていただきます。

筑北村図書館だより

もりの子お話の会主催で開催した『夏休みスペシャル!』の様子をご紹介します。毎年人気のイベントですが、今年も多くの皆さんに参加していただきありがとうございました。

手遊び・読み聞かせ・パネルシアターなど、どれも面白く、参加した皆さんも真剣に見入っていました。その後、工作で各自作った“クルクルこま”で遊んでとても楽しそうでした。



色とりどりのこまができました!
クルクルまわって楽しかったね!



ぐりとぐらのカステラ
美味しそうでしたね♪

『すたすたかたつむり』
面白い本でした☆

イベントのお知らせ

10月 ハロウィン

10月21日(火)から『ハロウィンめりえ大会』を開催します!おばけやおばけかぼちゃのめりえを用意してあります♪仕上がった絵は図書館に飾ります。みんなでかわいくぬってくださいね!



古本市

坂北体育館で開催される文化祭(10月31日~11月3日)で、一般書、コミックス等古くなった本を無料で差し上げます。読書の秋にぜひご利用ください。

11月 読書月間

☆雑誌リサイクル 11月1日から筑北村図書館内にて行います。(※失着順です。)
☆読み聞かせ 筑北村図書館 11月16日(日)午前10:00~ もりの子お話の会
本城公民館 11月30日(日)午前10:00~ おはなしポケット
☆スタンプラリー 読書月間中、筑北図書館・本城公民館・坂井公民館にて行います。
詳細は追ってお知らせいたします。



皆さんのお越しをお待ちしています!

さかなつかみ大会 坂井・安坂川

7月26日の猛暑日に、2回目のさかなつかみ大会がありました。ニジマス、ヤマメ300匹を放流しました。子供達も50人以上が集まりました。子育ては地域で!そんな思いの感謝の大会です。



川の水もきれいに刈られ、子供達ものびのびと暑さを忘れて楽しむ事が出来ました。



坂井ちよとやる会 「森で薬を作ろうよ」

坂井地域の里の駅ワークショップ参加者有志が立ち上げた坂井ちよとやる会では、7月26日・27日に初めての企画イベント「森で薬を作ろうよ」を開催しました。上田市在住の薬剤師小川先生を講師に迎えて坂井森林体験交流センター・修那羅森林公園キャンプ場でワークショップを行いました。参加者の募集期間が短かったので人が集まるか心配しましたが、県外からの2名を含めて16名が集まりました。キハダから薬を作るくをテーマに一日目は講師と共に、林道を散策し植物を観察しながらキハダの木を探しました。二日目はキハダを煮詰め、キハダによる染色も行いました。キハダは、古くから生薬として胃や腸の薬に使用されたり、染料として利用されてきました。外側の皮を剥がすと名前の通りとても綺麗な黄色の内皮があります。その内皮を細かく刻んで煮出します。「良薬口に苦し」と言わ



れますが、とても苦くてよく効きそうな薬が出来ました。染色では、絹の布を小石や輪ゴムを使って縛り、模様を作りました。鮮やかな黄色に染まりました。修那羅キャンプ場は地元の人でも今回初めて来た人もいました。とても良い施設で県外からの参加者も講師の先生も気に入って「また来たい!」とおっしゃっていました。これからもこの企画を立てて村内外にPRしていきたいと思っています。



コラム

毎年九月初めに自分が必ず参加する行事があります。以前勤めていた会社のOB会なのですが、広島、大阪、名古屋、東京、神奈川などから安曇野に集まって観光、温泉、トリック会を開くのです。このトリック会が夜中まで続くのですが、60歳前半から70歳後半の男性陣の元気に毎年驚かされています。元気の源は何か?女性陣の中で話しているのですが、それぞれに趣味、やりたいことを楽しくやっている...という結論に達します。一人胃を摘出して体力がおちた方がいました。その翌年元気な姿で再会し、私たちを驚かせてくれました。近隣で暮らす元同僚たちで強引にゴルフに誘ったのだそうです。「ゴルフが趣味だったことを引き出してくれた仲間がいたから」とご本人は言っていました。良き仲間がいたことが人を元気にしてくれたと仲間のありがたさを感じた出来事でした。学校の同級生、会社の同僚、ご近所さんなど良き仲間がいることの大切さを感じるこの頃です。OKAちゃん

「子どもに絵本を与えたいけれど、どんな絵本を選べばよいかわからない。」そんな方は、ブックスタート事業からヒントになる内容を見つけてくださいね。

ブックスタート（ファーストブック）は、11月14日に行います。絵本の扉を開いて、絵本の世界の楽しさを親子で味わってほしいと願っています。



のみなさんに手遊びや読み聞かせをしてもらいました。宮下教育長から絵本を手渡されると、にこにこしながら「ありがとう」と、言えるお子さんもいました。



元本城保育園舎を子育て支援センターとして利用し始めて約2か月になります。継続して行っている行事も場所が変わると新鮮に感じます。新しい場所で「親子でにこにこ」活動している様子をお伝えします。

運動あそび

（6月27日）

柳澤運動プログラムを実践してくださる柳澤友希先生と（年間4回）親子で身体を動かして遊んでいます。「さかさま」になることや「回る」こと、大胆な上下運動など、お母さんの胸や腕、背中なら安心して身をゆだねて体験していました。参加したお母さん同士で「できたね！」「すごいね！」と、お互いに声を掛けあったり、手をたたいたりしていました。



キッズビクス

（7月1日）

♪ミッキー・マウス・マーチ♪や♪となりのトトロ♪等、聞きなれた音楽に合わせて、親子で（年間4回）身体を動かして楽しんでいます。



松本短期大学へ 行ってきました！

（7月7日）

今年で3年目になります。毎回楽しい企画で放課後児童クラブを受け入れてくださっています。今回の参加者数は、52人と過去最多人数でした。グループ対抗ドッチボールやすいか割など幼児保育学科、介護福祉学科の学生が思い切り児童と遊んでくれました。最後は、学生のアーチをくぐりハイタッチをしてお別れしました。



HAPPY 子育て講習会のお知らせ

もっと幸せなママになれるよ

～自分らしく、楽しい子育てをしませんか～

レクリエーションや遊びを通してストレスを上手に解消し、人や子どもとの向き合い方を体験学習する、楽しい講習会です。
ふるってご参加下さい！

日 時：10月7日（火） 9時30分～11時20分
会 場：坂井児童館へお子さんと一緒に集合して下さい
（講習会場 坂井公民館集会室）
講 師：犬飼 己紀子先生
（松本大学 スポーツ健康学科教授）



講師の遠藤正美先生の声掛けをよく聞いて、大きなまや、小さなまになったり、手を振ったり、リズムに合わせて動いています。子どもと触れ合いながらの「ちよつとだけママビクス」もあり、「きついく！」と、悲鳴と笑顔が混じっていました。

誕生会（6月～7月生まれ）

（7月9日）

「わのへや」（たたみの部屋）で誕生会を行いました。インタビューをする時やプレゼントを手渡す時など、参加者みんなが聞いてくれたり、手をたたいたりしてお祝いしてくれました。



場所を「プレイルーム」に移して「花音TORIO」の皆さんによる七夕コンサートを行いました。ヴァイオリン2台とピアノの美しい音色を聞いたり、一緒に歌ったりしました。お母さんもりフレッシュできたのではないのでしょうか。

ブックスタート （セカンドブック）

（7月25日）

今年度3歳になるお子さん（22名）に絵本をプレゼントしました。坂北地域で活動されている、もりの子おはなしの会



筑北村民憲章
希望に満ちた村をつくりましょう



このような盛大な式を行って
下さり感謝致します



成人式 式典

御成人
おめでとう
ございます！
ここから始まる
新しい人生を
楽しめましょう！



祝！成人 祝賀会

我がふるさと 最高～！



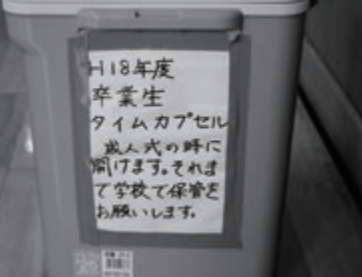
うわ～
懐かしいな～

新成人メッセージ

※介護の勉強をしています。将来の介護は任せてください！！
※学んでいるものを活かし、いつか地域に貢献したいです。
※転校をしたのでもう逢えないと思っていました。
こうして皆さんに逢えることが出来、とても嬉しいです。



坂井小タイムカプセル登場!!



今年の夏も暑かったですね～
でも、ぎらぎら照りつける太陽の下で
子ども達はとっても元気！！
思いっきり、夏を楽しんでいました。



気持ちいい！



坂井保育園と交流会
プールで遊んで一緒に
給食を食べました。

保育園 ～夏の便り～

プールに入れな
くても水遊び楽
しい！！
噴水のおもちや
に、みんな歓
声を上げて大は
しゃぎです。

わーい、水が出たー
たのしい！



おばけ、いる？



夏の風物詩、お化けやしき～
怖くて、先生だっこ～！



館報第53号をお届けします。
夏休みに帰省した時に（私は
埼玉出身です）東京に住んでい
る兄と小学校の夏休みについて
話しました。坂井小学校の休み
は25日間ですが、兄の子の学校
の休みは44日間あるそうです。
なんと19日も違うのです。前か
ら長野県の夏休みは短いと思
っていましたがこの違いは驚き
です。調べてみたら長野県の夏
休みは全国でも北海道と1位、
2位を争う短さでした。以前は
稲刈り休みや寒中休みがあった
ので夏休みの短さも理解できま
したが、最近はそのような休み
もなくなっているのです、どうし
て今でも夏休みが短いのかは謎
のままです。
また、東京の学校では5・6
年生はお受験で忙しいので低学
年に比べて夏休みの宿題が少な
いそうです。長野の子供達は短
い休みでたくさん宿題を頑張
っているのです。あまり子供に
「宿題は終わったの!!」と怒る
のは可愛そうかなと、思いまし
た。
R E I